

# いきいきと暮らせるまちを目指して

笠松町長 広江 正明



あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から町行政に対しご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年国内において地震、台風、ゲリラ豪雨など局地的な自然災害に見舞われた一年となりました。改めて自然災害の恐ろしさを感じたところでございます。町では、順次、老朽化した建物の耐震補強を進めてまいりました。現在、建設中の新学校給食センターが、この4月から稼働いたします。最新の衛生管理基準に対応し、徹底した衛生管理と安全かつ効率的に大量調理できる調理機器を備えるほか、食物アレルギーをもつ児童生徒に対応するための専用調理室を新たに備えるなど、今まで以上に安全・安心でおいしい給食を提供することができるようになります。栄養バランスのとれた給食の安定提供により、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と身体の発育・発達の向上に大きな役割を果たすことができると考えております。

このほか、笠松町運動公園につきましては、都市公園として整備を進めてまいりましたが、新たに築山やトイレの整備を進めていきます。皆さんが、安らぎ集える場としてご利用いただければ

幸いです。また、リバーサイドタウンかさまつ計画に基づき整備していますサイクリングロードにつきましても、笠松みなの公園から河川環境楽園までを繋ぎ、木曾川が持つ豊かな自然環境の魅力を発信・提供するとともに、国の地方創生関連交付金を活用し実施しておりましたコミュニティサイクル社会実験の取り組みも踏まえ、交流人口の増加を図り、活気あるまちづくりを推進します。

次に、新たな取り組みとしまして、昨年11月に岐阜市と「岐阜連携都市圏」を形成するため、連携協約を締結いたしました。急速に進む少子高齢化に対応するため、近隣市町が互いに連携し効率よく行政運営を行うことで、地域の活力を維持するとともに圏域全体の活性化を図るものです。今後、連携できる分野についてさらに協議を重ねてまいります。

また、引き続きゲリラ豪雨などの水害対策として、雨水貯留施設の整備を推進するなど、町民の皆様のよりよい暮らしのため、全職員が一丸となって、「いきいきと暮らせるまち」を目指し、各種の施策推進に努めてまいり所存であります。

結びに、この1年が皆様にとって健康で、幸多き年になりますよう心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。